

指定管理者モニタリングレポート（令和5年度）

作成日 令和6年6月13日

施 設 名	加茂野保育園	
所 在 地	美濃加茂市加茂野町鷹之巣字中落1453	
指 定 管 理 者	名 称 株式会社 セリオ 代表者 代表取締役 黒崎 泰司 住 所 大阪市北区堂島 1-5-17 堂島グランドビル 8F	
指定期間・選定方法	R5.4.1～R8.3.31	公募・非公募(任意指定)
モニタリングの実施方法等	加茂野保育園・児童館において実施	
担 当 課 (問合せ先)	健康こども部こども未来課	

モニタリングの総合結果及び業務改善に向けた方針

- ・「美濃加茂市立加茂野保育園及び加茂野児童館指定管理業務仕様書」中の「(2)管理運営の基本方針」に基づいた管理運営が行われているかを確認した。
- ・そのうち「(2)令和5年4月1日から令和8年3月31日までの期間における保育・事業の内容は、これまでの加茂野保育園等での保育及び児童館での遊びの実施状況を参考としつつ、民営化に向けたものとする」とについて、①令和4年度における引継ぎ者及び引継ぎ期間が限られたものであった、②保育士などの人員体制が計画通り整わなかった、③地方部における比較的規模の大きい保育所運営に対するノウハウが不足していた部分があった、などにより、前期については従前の保育内容を引き継ぎ、保育を実施していくことについて、やや難しい面があった。
- ・また、前期については副食費の誤請求、複数の保護者からの問合せなどの対応が生じた。
- ・このような状況に鑑み、6月以降、毎月随時モニタリングを実施し、円滑な管理運営が行えるように連絡調整を図ってきたところである。
- ・後期については、計画的な保育士等の人員採用、保育園支援システム「ゴドモン」の活用や登降園時の保護者との直接的な対話などにより保護者とのコミュニケーションの改善、昼礼や申し送りノートの活用、各種社内研修の受講などを通じて保育士間のコミュニケーションの改善や保育観の共有が図られ、園の安定的な運営に資する取組が行われた。
- ・今後も質の高い保育の実践に向けて、①保育士等人員の安定的な雇用を図ること、②園内研修や交流保育などにより同僚性の高い組織を志向すること、③円滑なコミュニケーションを通じ、保護者との良好な関係を築くことについて、不断の取組みを実践されたい。
- ・併せて、英語、スイミングなどの特別保育、休日保育及び医療的ケア児保育の実施など保育サービスの充実を図られたい。

①経営分析に関すること

- ・ 指定管理料の範囲内で事業を行っており、事業収支は黒字となっている。
- ・ 支出のうち多くが保育園に勤務する職員の人件費で占められており、人件費比率は 72.6%である。
- ・ 保育料及び保育所等給食費を市が徴収しているため、利用料金比率には用品購入代等のみが計上されており、利用料金比率は 0.7%となっている。
- ・ 令和 5 年度は職員採用が想定より難航し、人件費にかかる支出が想定より減少したことにより事業収支の黒字が大きい。

②事業計画・実施事業に関すること

- ・ 事業計画のうち、概ね予定通りに執行することができた。
- ・ 人員配置について、保育士配置基準は順守できていたが、4～6 月は思うように人を採用できなかった。8 月以降は配置できるようになったが、余裕のある職員配置には更なる採用が必要である。
- ・ おむつのサブスクサービス(保護者が利用料を払い園でおむつを用意するサービス)を実施したが、利用者が少ないため、更なる周知が必要である。

③経理に関すること

- ・ 保育園専用口座を開設し、帳簿等は経理部により適正に管理されている。
- ・ 現金管理については園長が出納帳で管理している。

④施設管理に関すること

- ・ 施設の定期点検や遊具検査を行い安全対策をしていた。
- ・ 清掃についてはシルバー人材を活用し行っていた。
- ・ マスターキーについてはキーボックスや管理台帳を用いて適切に管理していた。
- ・ 月 1 回の避難訓練により避難経路を確認し、安全確保を行っていた。

⑤サービスに関すること

- ・ おむつのサブスクサービス(保護者が利用料を払い園でおむつを用意するサービス)を導入した、しかし利用者があまり増えなかったため、サービスについてのアナウンスを増やし周知することが必要である。
- ・ 苦情等の処理に関する書類については全職員が閲覧できるようにし共有していた。
- ・ 保護者アンケートの結果を受け、保護者の満足度を高めるために児童に係る引継ぎをもれなく行うための仕組みを取り入れた。

⑥その他

- ・ コドモンを活用し日々の状況や連絡等の情報を公開した。
- ・ 個人情報については適正に管理できるよう研修を行い、指定管理者内部のガバナンス本部の監査を受けた。
- ・ 職員の労働環境についてはシフト管理、有給休暇管理を適切に行えている。

指定管理者モニタリングレポート（令和5年度）

作成日 令和6年6月13日

施 設 名	加茂野児童館	
所 在 地	美濃加茂市加茂野町鷹之巣字中落1453	
指 定 管 理 者	名 称 株式会社 セリオ 代表者 代表取締役 黒崎 泰司 住 所 大阪市北区堂島 1-5-17 堂島グランドビル 8F	
指定期間・選定方法	R5.4.1～R8.3.31	公募・非公募(任意指定)
モニタリングの実施方法等	加茂野保育園・児童館において実施	
担 当 課 (問合せ先)	健康こども部こども未来課	

モニタリングの総合結果及び業務改善に向けた方針

・加茂野児童館については、令和5年度から㈱セリオが管理運営を開始し、「児童館ガイドライン(平成30年10月1日子発 1001 第1号厚生労働省子ども家庭局長通知)」及び本市の児童館運営のルールに沿った形での運営・維持管理が行われた。

・コロナ禍により中止されていた、「児童館まつり(対象:乳幼児親子)」及び「伝承あそび(対象:小学生)」が再開され、加茂野地区の民生児童委員及び健寿会会員など地域ボランティアの方の協力を得ながら、様々な交流が図られた。また、新規に「わいわいサロン(母親同士がお茶を飲みながら交流を図る場)」が開催され、利用者同士の交流が図られるとともに、「クリスマス会」を土曜日開催に変更し、家族で参加できるよう改善が図られた。

・令和5年10月以降、利用者アンケートを継続実施され、利用者の意見を参考にした運営が指向されている。

・次に運営上の課題及びその解決方策について述べたい。

①児童館は18歳未満のすべての子どもを対象とした施設であるが、加茂野児童館は主に乳幼児を対象とした行事を実施しており、市内の子育て支援施設(サンサンルーム・にじいろ広場・ほたるの広場)との差別化を図ることができていない状況にある。

今後、小中高生を対象とした行事を合わせて実施することで、加茂野児童館が「地域における遊び及び生活の援助と子育て支援を行い、子どもの心身を育成し情操をゆたかにすることを目的とする施設」となるように努められたい。

②現在、遊戯室については平日午後(おおむね 13 時から 19 時)を加茂野児童館放課後児童クラブが利用していることで、平日午後の利用については児童館の専用室のみに限られ、児童館での遊び、行事の実施など子どもたちの利用が制限されている。また、加茂野保育園が行事等で遊戯室を利用する場合も利用が制限されている。

今後、加茂野保育園との連絡調整を密にされ、遊戯室が使用できる日時を増やすとともに、場所的な制約があり活動が制限されるが、加茂野児童館が子どもの居場所の一つとなるために、行事等の実施について、さらなる創意工夫をお願いしたい。

①経営分析に関すること

- ・ 指定管理料の範囲内で事業を行っており、事業収支は黒字となっている。
- ・ 支出のうち多くが児童館に勤務する職員の人件費で占められており、人件費比率は 91.4%である。
- ・ 児童館は無料で利用できる施設であり、利用料金比率は 0.0%である。

②事業計画・実施事業に関すること

- ・ 仕様書に則った運営ができており、人員配置も適切に行われている。
- ・ 特にイベント予約について、先着順としていたことで参加者の偏りや不公平が起きていたことを受け、Google フォームを導入したことで、利用者の利便性を高めることができた。

③経理に関すること

- ・ 児童館固有の口座で資金管理しており、事業に係る経費が適切に支出された。
- ・ 令和5年度は自主事業を行っておらず、経費は主に職員の人件費に使われている。
- ・ 特に帳簿については事務局・管理課・経理課の 3 者でトリプルチェックを行い、誤りの起きにくい体制が整えられている。

④施設管理に関すること

- ・ トイレ手洗い場修繕、一部照明の LED 化を行った。
- ・ マスターキーはキーボックスや管理台帳を用いて適切に管理できている。
- ・ 新たに購入した備品については備品購入記録に記載し、毎月備品の棚卸を行いチェックしている。

⑤サービスに関すること

- ・ 昨年度まで小学生・乳幼児親子の利用時間が制限されていたが、利用者の利便性向上のために利用時間制限を廃止した。
- ・ セルフモニタリングについては、利用者アンケートを継続的に行い、毎月の職員会議で共有し、改善点について話し合いを行い、改善した。

⑥その他

- ・ 個人情報については、個人情報管理台帳、リスク管理表、個人情報授受記録表等の帳簿により適切に管理しており、指定管理者内部の監査・指導を受けている。

指定管理者 期末モニタリング チェックリスト(令和5年度)

総合評価	B
------	---

実施日 R6年 6月 17日
担当課 こども未来課

対象施設	加茂野保育園	選定方法	<u>公募</u> ・非公募(任意指定)
設置目的	児童福祉法に基づく保育の提供		
指定管理者名	株式会社 セリオ	指定期間	R5.4.1～R8.3.31

総括	B	R5 年度	年度	年度	年度	年度	評価
① 経営分析	事業収支(円)	19,348,240					B
	利用料金比率(%)	0.7					B
	人件費比率(%)	72.6					B
	外部委託費比率(%)	11.86					B
	利用者1人当たりの管理運営コスト(円)	57,524					B
	利用者1人当たりの市負担コスト(円)	89,041					B
	施設1㎡当たりの利用者数(人)	1.3					B

※上記の経営分析については、過去の実績や類似施設と比較して評価する(優良:A、良好:B、問題有:C、要改善:D)

②実施事業に関すること		総括	B	一次評価	評価理由等
1	施設の設置目的に沿った事業を実施したか。目標を達成したか			B	一部予定したものができていなかったが、大枠計画通りに達成できた
2	収支計画との整合性はあったか			B	人件費、保育材料費に乖離があるが、大枠予算の中でできている
3	開館時間、休館日は適正に守られていたか			B	開園時間を守っての登園ができ、土曜も就労認定の児童のみ対応できている
4	資格者の人員配置など職員体制が適正に整えられていたか			B	配置、配属は、4月～6月は十分ではなかったが、8月以降には配置がそろい、体制が築けていた
5	公共性・公平性が保たれていたか			B	特に問題なく、事業を進めることができている
6	改善指示事項や要望が事業に反映されていたか			B	要望に対して、連絡帳アプリを活用し、迅速に対応できている
7	自主事業は適正に実施されていたか			C	おもむつのサブスクのみ実施し、利用者を増やすことと他事業を展開できていなかった

③経理に関すること		総括	B	一次評価	評価理由等
1	指定管理業務に係る固有の銀行口座が適正に管理されていたか			B	専用口座を開設し、経理部にて適正に管理している
2	協定に基づいた支出が適正に行われたか			B	協定書に基づき、運営費を予算化し、適正に支出している
3	指定管理業務と自主事業の会計が明確に区分して管理されていたか			C	自主事業をほぼ実施できていない。会計が明確に区分されていない
4	帳簿が適正に記載・管理されていたか			B	総勘定元帳を活用し、適正に管理している
5	帳簿を適正に記載・管理する体制が整えられていたか			B	弊社経理部や業務管理チームでの体制を整えることができている

6	現金は適正に管理されていたか	B	園長が現金を出納帳で管理している
---	----------------	---	------------------

④施設管理に関すること		総括	B	一次評価	評価理由等
1	保守点検・検査・修繕は適正に実施されたか			B	定期点検や遊具の検査を行い、安全対策をしていた
2	清掃は確実に行われたか			B	シルバー人材を活用し清掃業務を行った
3	マスターキー等の管理体制は十分であったか			B	鍵庫を利用し、鍵管理台帳で管理した
4	緊急時の連絡体制は整えられていたか			B	指定管理者内部の 5 分ルールにより、関係機関と迅速に対応できるような体制を築いている
5	避難経路の安全性は確保されていたか			B	月 1 回の避難訓練により、避難経路を毎回確認して、安全確保を行った
6	備品は適切に管理されていたか			B	備品管理簿と不要な備品については切り分けして処分や管理を行った
7	駐車場の保全・管理、施設の警備等は適切に行われていたか			C	4 月～6 月までは体制を確立できていなかったが夏以降は安定して配置できるようになった

⑤サービスに関すること		総括	B	一次評価	評価理由等
1	利用時間の延長など具体的にサービス向上や稼働率等の向上に取り組んだか			B	おむつサービスを取り入れたが利用者が増えなかったため、利用者増加に向けて、サービスアナウンスを増やす必要がある
2	苦情等の処理は適正かつ迅速に行われたか			B	社内や関係各所との連携を重視し、迅速に対応できた
3	苦情等の処理に関する書類は適正に整備・管理されていたか			B	全職員が共有できるようにファイリングし、管理した
4	ホームページ等でのPRは適正に行われたか			B	HP での PR はできていたが、ブログなどの活用、SNS の活用が必要
5	セルフモニタリングは適正に行われたか			B	保育事業部と園が協力しセルフモニタリングを実施した
6	利用者アンケートの結果をサービスの向上にいかしたか			B	結果を真摯に受け止め、課題解決などに向けて対応した
7	サービス向上のために職員研修等を実施したか。接客態度に問題はなかったか			B	園外研修を職員に実施した
8	経費縮減・費用対効果の向上(費用の最小化)を図る取組みを実施したか			B	予算管理化を行うことにより、費用削減に努める

⑥その他		総括	B	一次評価	評価理由等
1	施設の管理に係る情報の管理や情報公開は適正に行われたか			B	コドモンを活用し、日々の状況や連絡の情報を公開した
2	個人情報適正に利用・管理されていたか			B	個人情報保護研修を行い、指定管理者社内のガバナンス本部の内部監査を受けた
3	環境に配慮した事業を推進したか			C	室内のおもちゃ配置を工夫し、保育室の動線確保に努める必要がある
4	業務実施に必要な保険に加入していたか			B	傷害保険、賠償保険といった業務に必要な保険に加入している
5	利用者及び職員の安全管理に関する体制・仕組みが適切に整えられていたか			B	安全管理については、マニュアルなどを整備してすすめている
6	労働法令を遵守し、雇用・労働条件への適切な配慮がされていたか			B	シフト管理、休憩対応、有給休暇管理など適切に対応できている

7	地域との連携・協働は図られたか。まちづくりに配慮した事業を推進したか	C	いもほりや野菜の苗などをいただき、地域の方とのかかわりはあったが、地域事業には参加できなかった
8	市と連絡を密にしていたか	B	1 か月に一度随時モニタリングを実施し、振り返りを共有し、課題解決に向けて協議した。

●経営分析の指標と評価の考え方

評価指標	計算方法	評価の考え方
◆事業収支(円)	収入－支出	事業全体が黒字であるかを確認。赤字の場合、管理継続性の面で課題となるため、市及び指定管理者で黒字転換に向けた協議が必要である。
◆利用料金比率(%)	利用料金収入／収入×100	収入に占める利用料金の割合。指定管理者の主たる収入源がどこにあり、それが安定したものであるかを評価できる。
◆人件費比率(%)	人件費／支出×100	支出に占める人件費の割合。支出の中で人件費が高すぎないか、抑制しすぎていないかを評価できる。
◆外部委託比率(%)	外部委託費合計／支出×100	支出に占める外部委託費の割合。外部委託に委任しすぎていないか評価できる。
◆利用者1人当たりの管理運営コスト(円)	支出／延利用者数	利用者1人当たりに対する管理運営コストが適正であるかを確認。前年度との比較、類似施設との比較などにより効率性を評価できる。
◆利用者1人当たりの市負担コスト(円)	市の支出／延利用者数	利用者1人当たりに対する市負担コストが適正であるかを確認。前年度との比較、類似施設との比較などにより効率性を評価できる。
◆施設1㎡当たりの利用者数(人)	延利用者数／延床面積	施設1㎡当たりの利用者数を確認。利用者に対して施設の大きさが適当か、類似施設との比較により効率性を評価できる。

※過去の実績や類似施設と比較して評価する(優良:A、良好:B、問題有:C、要改善:D)

●評価の判定基準

① 一次評価	A(優良)= 協定書、仕様書等の内容を遵守し、定めた水準よりも優れている B(良好)= 協定書、仕様書等の内容を遵守し、定めた水準に達している C(課題有)= 協定書、仕様書等の内容を遵守しているが、一部課題がある D(要改善)= 協定書、仕様書等の内容を遵守しておらず、早急な改善が必要である
② 総括	A(優良)= 一次評価がすべてB以上であり、かつAが半数以上である B(良好)= 一次評価がすべてC以上であり、かつABが半数以上である C(課題有)= 一次評価がすべてC以上であり、かつABが半数未満である D(要改善)= 一次評価にDが含まれている
③ 総合評価	A(優良)= 総括がすべてB以上であり、かつAが半数以上である B(良好)= 総括がすべてB以上であり、かつAが半数未満である C(課題有)= 総括がすべてC以上であり、かつCが含まれている D(要改善)= 総括にDが含まれている

指定管理者 期末モニタリング チェックリスト(令和5年度)

総合評価	B
------	---

実施日 R6年 5月 23日
担当課 こども未来課

対象施設	加茂野児童館	選定方法	<input checked="" type="checkbox"/> 公募・非公募(任意指定)
設置目的	児童に健全な遊びを与えてその健康を増進し、情操を豊かにするため		
指定管理者名	株式会社 セリオ	指定期間	R5.4.1～R8.3.31

総括	B	R5 年度	年度	年度	年度	年度	評価
① 経 営 分 析	事業収支(円)	1,292,899					B
	利用料金比率(%)	0.0					B
	人件費比率(%)	91.4					B
	外部委託費比率(%)	0.0					B
	利用者1人当たりの 管理運営コスト(円)	1,228					B
	利用者1人当たりの 市負担コスト(円)	1,228					B
	施設1㎡当たりの 利用者数(人)	26					B

※上記の経営分析については、過去の実績や類似施設と比較して評価する(優良:A、良好:B、問題有:C、要改善:D)

②実施事業に関すること		総括	B	一次 評価	評価理由等
1	施設の設置目的に沿った事業を実施したか。目標を達成したか			B	仕様書や規程類に則って運営した
2	収支計画との整合性はあったか			B	概ね計画通りの支出状況である
3	開館時間、休館日は適正に守られていたか			B	適正な開館時間、休館日が守られていた
4	資格者の人員配置など職員体制が適正に整えられていたか			B	有資格者を適切に配置した
5	公共性・公平性が保たれていたか			B	誰もが利用しやすい児童館となっていた
6	改善指示事項や要望が事業に反映されていたか			A	イベント予約を google フォームによるネット予約に改善した
7	自主事業は適正に実施されていたか			-	自主事業は行っていない

③経理に関すること		総括	B	一次 評価	評価理由等
1	指定管理業務に係る固有の銀行口座が適正に管理されていたか			B	加茂野児童館固有の口座で管理した
2	協定に基づいた支出が適正に行われたか			B	適切に支出した
3	指定管理業務と自主事業の会計が明確に区分して管理されていたか			-	自主事業の支出はなかった
4	帳簿が適正に記載・管理されていたか			B	指定管理者社内のチェックリストに沿って適切に記載した
5	帳簿を適正に記載・管理する体制が整えられていたか			B	事務局・管理課・経理課にてトリプルチェックを実施

6	現金は適正に管理されていたか	B	指定管理者社内のチェックリストに沿って適切に管理した
---	----------------	---	----------------------------

④施設管理に関すること		総括	B	一次評価	評価理由等
1	保守点検・検査・修繕は適正に実施されたか			B	点検類は保育園にて実施、トイレ手洗い場の修繕、照明のLED工事の実施
2	清掃は確実に行われたか			B	毎日丁寧に消毒作業、清掃を行なった
3	マスターキー等の管理体制は十分であったか			B	キーボックスや台帳を用いて適切に管理されていた
4	緊急時の連絡体制は整えられていたか			B	放課後事業部内の緊急連絡網を整備し、防災マニュアルを作成した
5	避難経路の安全性は確保されていたか			B	避難経路に危険なものがないか点検を実施した
6	備品は適切に管理されていたか			A	新たに購入した備品は備品購入記録に記載し、毎月備品チェックを実施している
7	駐車場の保全・管理、施設の警備等は適切に行われていたか			B	保育園とともに適切に管理した

⑤サービスに関すること		総括	B	一次評価	評価理由等
1	利用時間の延長など具体的にサービス向上や稼働率等の向上に取り組んだか			B	小学生・乳幼児親子の利用時間制限を廃止した
2	苦情等の処理は適正かつ迅速に行われたか			B	苦情はなかった
3	苦情等の処理に関する書類は適正に整備・管理されていたか			B	苦情・要望等があった場合は適正に対応するよう伝達
4	ホームページ等でのPRは適正に行われたか			B	児童館だよりを更新しイベントなどを周知した
5	セルフモニタリングは適正に行われたか			A	利用者アンケートを継続的に行ない、毎月の職員会議で共有、改善点について話し合いを行った
6	利用者アンケートの結果をサービスの向上にいかしたか			A	エアロビや小学生講座の内容を改善した
7	サービス向上のために職員研修等を実施したか。接客態度に問題はなかったか			B	研修による情報を職員同士共有し、利用者の丁寧な対応をした
8	経費縮減・費用対効果の向上(費用の最小化)を図る取組みを実施したか			A	勤怠管理・経費精算システムを全社で統一して導入し、保育園と共同で消耗品を使用するなどの運用をしている

⑥その他		総括	B	一次評価	評価理由等
1	施設の管理に係る情報の管理や情報公開は適正に行われたか			B	保育園と連携して管理した
2	個人情報適正に利用・管理されていたか			A	個人情報管理台帳・リスク管理表・個人情報授受記録表等の帳簿により適切に管理しており、内部監査による指導も受けている
3	環境に配慮した事業を推進したか			A	廃材を工作に有効活用したり、みどりのカーテンを実施した
4	業務実施に必要な保険に加入していたか			B	傷害保険・損害賠償保険に加入している
5	利用者及び職員の安全管理に関する体制・仕組みが適切に整えられていたか			B	各種マニュアルを放課後事業で整備し、職員間で周知した
6	労働法令を遵守し、雇用・労働条件への適切な配慮がされていたか			B	適切な勤怠管理と3ヶ月に1度の契約更新面談を全職員に対して実施した

7	地域との連携・協働は図られたか。まちづくりに配慮した事業を推進したか	B	イベント等で地域ボランティアを依頼した
8	市と連絡を密にしていたか	B	判断に迷う事や不明な事は事前に相談した

●経営分析の指標と評価の考え方

評価指標	計算方法	評価の考え方
◆事業収支(円)	収入－支出	事業全体が黒字であるかを確認。赤字の場合、管理継続性の面で課題となるため、市及び指定管理者で黒字転換に向けた協議が必要である。
◆利用料金比率(%)	利用料金収入／収入×100	収入に占める利用料金の割合。指定管理者の主たる収入源がどこにあり、それが安定したものであるかを評価できる。
◆人件費比率(%)	人件費／支出×100	支出に占める人件費の割合。支出の中で人件費が高すぎないか、抑制しすぎていないかを評価できる。
◆外部委託比率(%)	外部委託費合計／支出×100	支出に占める外部委託費の割合。外部委託に委任しすぎていないか評価できる。
◆利用者1人当たりの管理運営コスト(円)	支出／延利用者数	利用者1人当たりに対する管理運営コストが適正であるかを確認。前年度との比較、類似施設との比較などにより効率性を評価できる。
◆利用者1人当たりの市負担コスト(円)	市の支出／延利用者数	利用者1人当たりに対する市負担コストが適正であるかを確認。前年度との比較、類似施設との比較などにより効率性を評価できる。
◆施設1㎡当たりの利用者数(人)	延利用者数／延床面積	施設1㎡当たりの利用者数を確認。利用者に対して施設の大きさが適当か、類似施設との比較により効率性を評価できる。

※過去の実績や類似施設と比較して評価する(優良:A、良好:B、問題有:C、要改善:D)

●評価の判定基準

① 一次評価	A(優良)= 協定書、仕様書等の内容を遵守し、定めた水準よりも優れている B(良好)= 協定書、仕様書等の内容を遵守し、定めた水準に達している C(課題有)= 協定書、仕様書等の内容を遵守しているが、一部課題がある D(要改善)= 協定書、仕様書等の内容を遵守しておらず、早急な改善が必要である
② 総括	A(優良)= 一次評価がすべてB以上であり、かつAが半数以上である B(良好)= 一次評価がすべてC以上であり、かつABが半数以上である C(課題有)= 一次評価がすべてC以上であり、かつABが半数未満である D(要改善)= 一次評価にDが含まれている
③ 総合評価	A(優良)= 総括がすべてB以上であり、かつAが半数以上である B(良好)= 総括がすべてB以上であり、かつAが半数未満である C(課題有)= 総括がすべてC以上であり、かつCが含まれている D(要改善)= 総括にDが含まれている

指定管理者管理運営状況調書

1. 指定管理者・施設の基本情報

令和 6 年 6 月 18 日

指定管理者名	株式会社セリオ	担当課	こども未来課
指定期間	R5. 4. 1～R8. 3. 31	選定方法	<input checked="" type="checkbox"/> 公募・非公募(任意指定)
施設名	加茂野保育園・加茂野児童館	施設の種類	子育て支援施設
所在地	岐阜県美濃加茂市加茂野町鷹之巣1453番地		
設置根拠条例等	美濃加茂市保育園の設置及び管理に関する条例、美濃加茂市児童館の設置及び管理に関する条例		
設置目的・役割	保育を必要とする乳児・幼児を日々保護者の下から通わせて保育を行うこと、児童に健全な遊びを与えてその健康を増進し、情操を豊かにするため		
実施事業	加茂野保育園及び児童館の運営		

2. 施設の概要

土地	敷地面積	4,027 m ²			駐車場 台数	30 台程度(小学校と共用部あり)		
	内借地面積	該当なし	契約期間	該当なし		借地料	該当なし	
建物	設置形態	<div>市所有</div> <div>賃貸借</div>	契約期間	該当なし		賃借料	該当なし	
	建物の内容	加茂野保育園、加茂野児童館						
	主要な建物の 建築年月	平成 11 年 2 月			取得 時期			
	延床面積	1,591.69 m ² (1,321.23 m ² +270.46 m ²)		構造	RC 造		階数	2
	耐震基準	新耐震	耐震 診断	不要	耐震 補強	不要	Is値	-
	ユニバーサル デザイン化 状況	実施	エレベーター	スロープ	自動ドア	手すり	障がい者 用トイレ	その他
		<div>一部実施</div> <div>未実施</div>						
	大規模修繕 実施状況	2021 年 3 月空調設備工事、2022 年 2 月防水改修工事						
留意事項								

3. 管理・運営の現況

開館日数	保育園:月～土 児童館:月～土	休館日	保育園:日祝日、 12/29～1/3 児童館:日祝日	開館時間	保育園:7:30～ 18:30 児童館:9:30～ 17:00
------	--------------------	-----	----------------------------------	------	--

職員数等 管理体制	保育園 園長1、副園長1、保育士 19, その他 5 計 26 人 児童館 館長1、厚生員1 計2人
--------------	---

4. 施設の維持管理コスト等(保育園分と児童館分合計)

市の 収 支 状 況	(単位:千円)		5 年度	6 年度	7 年度	8 年度	指定管理導入前(R4)
	支 出	支出合計	165,647 千円				112,977 千円
		人件費					73,185 千円
		修繕料・工事請負費	6,069 千円				305 千円
		光熱水費					3,548 千円
		委託費・指定管理料	159,578 千円				31,924 千円
		賃借料					0
		その他					4,015 千円
	収 入	収入合計	13,563 千円				13,361 千円
		使用料・手数料	13,563 千円				13,361 千円
		その他業務収益					
		業務関連収益					
指定 管 理 者 の 収 支 状 況	(単位:千円)		5 年度	6 年度	7 年度	8 年度	年度
	支 出	支出総合計(a+b)	110,082 千円				
		支出合計(a)	110,082 千円				
		人件費	81,496 千円				
		事業費	11,787 千円				
		維持補修費	216 千円				
		光熱水費	4,555 千円				
		保守点検等委託費	12,028 千円				
		その他					
		自主事業支出(b)					
	収 入	収入総合計(c+d)	130,723 千円				
		収入合計(c)	130,723 千円				
		指定管理料	128,584 千円				
		利用料金	860 千円				
		その他	1,279 千円				
		自主事業収入(d)					

5. 施設の利用状況 保育園分

		5 年度		6 年度		7 年度		8 年度		指定管理導入前	
開館日数		293								243	
年間延利用者数		1,763									
利用者数(3/1 時点)		145								158	
定員		195								195	
部 屋	名称	加茂野保育園				平日	100%		土日祝	100%	
	午前	100%		午後	100%		夜間	%		計	100%

別稼働率	名称	加茂野児童館			平日	100%	土日祝	100%
	午前	100%	午後	100%	夜間	%	計	100%
	名称				平日	%	土日祝	%
	午前	%	午後	%	夜間	%	計	%

施設の利用状況 児童館分

	5年度	6年度	7年度	8年度	指定管理導入前
開館日数	291				293
利用件数					
利用者数	7,058				5,556
定員					

6. 事業の実施状況

事業の実施状況	事業名	加茂野保育園	利用者数等	149
	事業内容	児童福祉法、子ども・子育て支援法にもとづく保育の提供		
	事業名	加茂野児童館	利用者数等	6,911
	事業内容	児童福祉法にもとづき、児童に健全な遊びを与えてその健康を増進し、情操を豊かにする。		
	事業名	加茂野児童館 児童館まつり	利用者数等	70
	事業内容	6月3日 9:30～11:30 開催。 おはなし広場「どんぐり」の公演(読み聞かせ、手遊び、人形劇)等		
	事業名	加茂野児童館 伝承遊び	利用者数等	42
	事業内容	11月18日開催。 紙コップけん玉、よく飛ぶ紙飛行機製作。じゃんけん列車、はないちもんめをして遊んだ。		
	事業名	夏休み小学生講座	利用者数等	計 124 名
	事業内容	かさ袋ロット(12名)、クレープ作り(21名)、スイーツキーホルダー(24名)、バスボム作り(31名)、フラワーマグネット(19名)、プラ板(17名) ※()内は参加者数		
	事業名	加茂野児童館クリスマス会	利用者数等	計 92 名
	事業内容	ボランティアに協力してもらい、手遊びや音楽遊びを開催。		
特記事項				

7. 指定管理者制度導入・更新前後の比較

項目	結果・詳細
サービス面	平日の保育に加え、これまで各公立保育園等における土曜保育について、あじさい保育園での一括実施だったものが、加茂野保育園で実施できるようになった。

コスト面	指定管理導入により正職員が増えたため、コスト面では上昇している。
利用者数・稼働率	保育園は利用者数に大きな差はないが、指定管理となることで職員体制が整えられ 0 歳児の受入ができるようになった。児童館は指定管理導入前に比べ利用者数が増加している。
事業実施状況	概ね適正に実施できている。保護者からの要望・指摘、満足度アンケートを受け、改善を続けている。
地域との協働等	保育の安定を最優先としていることもあり、今後徐々に行っていく。
その他	